

## 2024年9月の行事予定表

1	日	大月師 聖餐式、役員会	16	(祝)	CS ワンデー・スクール
2	月		17	火	
3	火		18	水	
4	水	祈禱会休み	19	木	祈禱会休み
5	木		20	金	
6	金		21	土	
7	土		22	日	大月師 長寿を祝う会
8	日	永松師	23	(祝)	
9	月	教職者ハラスメント対策研修会 (社会委員会) 19:00~ zoom	24	火	
10	火	祈禱会休み	25	水	祈禱会休み
11	水		26	木	
12	木	祈禱会休み	27	金	
13	金		28	土	
14	土		29	日	証し：M 姉
15	日	大月師 壮年会、女性会	30	月	

9月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。

### 編集後記

- ◇ 空は薄く広がる秋の雲に変わったのに、夏はまだまだ続きそうです。残暑のお見舞い心から申し上げます。
- ◇ 記念の400号に永松先生の寄稿を頂き感謝です。山村・大鳥居コンビの時代も懐かしく思い出しました。300号の全国女性大会の記事の写真に奈良西和教会時代の大月先生の姿がありました。100号分の時の後に大月先生をお迎えしていることを、不思議に思います。
- ◇ これから500号に向けて、教会はどんな道を歩むのでしょうか？「私の道はあなたたちの道を、私の思いはあなたたちの思いを、高く超えている」

(イザヤ55：9) (今年度教会聖句) のみ言葉に期待します。

# 教会月報

2024年9月

No.400

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

## 「祈り、み言葉、聖霊の働きによって」

私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」(ローマ5:5)

コーリー・テン・ブームという方をご存知でしょうか？ オランダ人ですが多くのユダヤ人を匿った一家は、収容所に送られます。家族で一人だけ生き延びて53歳で宣教師となり、“神の愛はとてつもなく深く、敵を赦す愛を与えてくださる”と、85歳まで世界中証し続けました。私たちは、争いの悲惨さを知りながらもなかなか赦せない者ですが、コーリーの体験に最近圧倒されましたので、ご紹介したいと思います。

収容所で、身体の弱い姉を血まみれになるまで鞭打ったドイツの女性看守に、激しい怒りを覚えるコーリーに、姉は言います。「憎んではいけないわ、コーリー。愛して赦すのよ」「できないわ！絶対」、祈りの中でコーリーにみ言葉が与えられます。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

「私は悟った。私にはできないことでも、私の内におられる主には可能である。私は祈った。『ローマ5章5節を感謝いたします。イエス様、聖霊によって神の愛を私の心に注いでくださったことを、感謝いたします。お父様、私の内にあるあなたの愛は、私の憎しみよりも強いのです。』赦すことができたその瞬間、憎しみは消え去った。何という解放感！」(『何という愛』から)

怒りから解き放たれる時、まず自身が救われるのですね。

牧師 大月 康子

に寄せて

引退教職者  
永松 清



大記録を樹立する選手たちは、立派な記録を前にして淡々と語りま  
す。「それは通過点にすぎません。」と。

私たちの教会月報の発行に際しては、歴代の編集者によって続  
けられてきました。教会月報の前身「婦人会報」(現・女性会)とし  
て始められました。これまでの発行に尽力された方々にお礼を申し  
上げたいと思います。

最初の発行当時は、白神薫、丹治光江、藤原千代子姉妹が編集  
者として活躍されました。ある夜遅く(白神姉妹は現役看護師として  
活躍中でした)丹治光江姉妹宅に集まり、編集会議が開かれまし  
た。そして、丹治姉妹がワープロで原稿を打ち、家庭印刷機でコピ  
ーされました。その後、教会月報へとバトンタッチされて今日に至り  
ました。

さて、新約聖書のヘブライ人への手紙13:1以下に神に喜ばれる  
奉仕について記されています。13:1「兄弟(注・筆者)姉妹としてい  
つも愛し合いなさい。」とあります。口語訳聖書では「続けなさい。」  
と訳されています。

教会月報の営みは継続しています。今後も良き月報を通じて、主  
イエス・キリストの御名が崇められますよう祈ります。

もし、聖書を読んでもなかなか心に残らないと思ったら  
試してみてください。

- ① 声を出して読んでみる。
- ② 私への神様からの手紙だと思って読み返す。
- ③ 瞑想する。神様は私に何かを伝えたい。それは何?
- ④ 分からないことも含めて正直に祈る。

聖書は糧(食事)に例えられています。成分や栄養素を  
知らなくても、毎日摂ることが大切です。

(編集部)

水島教会 献堂式おめでとうございます

水島教会献堂式に参加して

8月12日(月・祝)、残暑厳しいながらも晴天の下、かねてより  
ご案内があった水島教会の献堂式に、岡山教会から大月先生、  
永松先生をはじめ教会員5名の計7名でうかがいました(全体で  
50余名出席)。新しい会堂は以前とは全く印象が一新され、  
内外装とも白を基調とした教会堂へと建て替えられて、本当に  
素敵に生まれ変わっていました。

当日の献堂式は塩崎先生の司式で行われ、招詞、新聖歌499番「祈り  
に祈りて」の賛美で始まりました。続いて、会堂建築委員長を務められた〇兄  
によって経過報告をお聞きしましたが、予定外の状況の変化など困難を乗り  
越えての新会堂建築であることが報告されました。

新聖歌340番「救い主イエス」を賛美した後、当日記念説教のためにお  
越しになった教団理事長の土肥先生より「土台はイエス・キリスト」と題してメッ  
セージが語られました。第一コリント3:9-15を引用され「新しい会堂にあつても  
信仰の中心のイエス様を土台として教会につながる人々の信仰がこれから



献堂式後の感謝会



新会堂全景

も一番大切である」と語られました。  
新聖歌143番「いと尊き」を賛美した後、塩崎先生より新会堂建築にあつ  
たの謝意に続き、会堂建築に携わった方々や保育園の理事長の心のこもつ  
た祝辞が述べられました。土肥先生の祝福で献堂式は終了。全体記念撮影  
の後、感謝会が行われ、最後に水島教会の前牧師であられた白鳥先生の感  
動的なスピーチでこの日は締めくくられました。

新しくなった水島教会で10月に地区聖会が開催されます。多くの方が参  
加されることを祈ります。(編集部)

読書の窓

「聖書的『終活』のススメ」

D.T姉

「終活」といえば、エンディングノートや遺言書に、  
周りの人々への感謝をはじめ葬式の段取りやお墓の  
準備、遺品や財産の管理などについて記せば完了、  
と思いがちですが、「終活」の最終目的は「心の平安」  
だと語ります。そのために、牧師である著者は多く  
のエピソードと聖句をあげつつ、読者に「聖書的『終  
活』について考えさせてくれます。」

第一章：新しい人生への転機：幸せE happyの語源はHappen  
で、偶然の出来事によって左右されます。宝くじが当たれば  
E happyで、スマホを失くしたらUnhappyというわけです。いつほ  
う、イエス様が聖書で「心の貧しい人々は、幸いである」(マタイ5:3)  
と言われたときの「幸い・幸せ」とは、「マカリオス」というギリシ  
ヤ語で、状況に左右されない祝福に満ちた状態を言います。

第二章：新しい人生への考察：過ぎた人生を、ただ後悔して過  
ごすのでしょうか。残された時間・機会・命を何に対して使ってい  
るでしょうか。

第三章：新しい人生への展望：人生で最優先にすべきものは何  
でしょうか。著者は答えます。「神がその人に与えられた使命です。  
神から与えられた使命を果たすまで、私たちの命(時間)は継続  
し、そして死は、挫折でも悲劇でもなく、この世の生の完了です。」

第四章：新しい人生への出発：ヨハネ九章二、三で、弟子たちは  
生まれつき盲目の男についてイエス様に「誰が罪を犯したからです  
か、本人ですか両親ですか。」と問います。イエス様の答えは「誰の  
罪でもない。神の業(わざ)が現れるため  
である。」と言われ癒されました。つまり、  
イエス様の関心はいつも、私たちの過去  
ではなく将来についてなのです。

「将来」が一週間でも十年であっても、  
平安のうちに新しい出発が出来るのです。



※映画「男はつらいよ」シリーズ主演の  
渥美清氏は、夫人の薦めで病床洗礼を  
受けクリスチャンになったそうです。  
〜(田中啓介著 風詠社刊)〜